

文化の日は、弘前大学へ行こう!

弘前大学人文社会科学部 国際公開講座 2018  
「日本を知り、世界を知る」

# 人文学の 創造力

— 世界の見方を変える —

文化の日に、津軽や日本そして世界の文化や歴史を、楽しく学んでみませんか? 人文学研究の最先端を、わかりやすくお伝えします。関心のある方はどなたでも、お気軽にご来場下さい。

## プログラム

総司会 弘前大学 人文社会科学部 講師 川瀬 卓

10:00~10:10

開会の辞

弘前大学 人文社会科学部 地域未来創生センター センター長 李 永俊

10:10~11:00

講演1 英語文法を探求する (Exploring English Grammar)

【使用言語 英語】 弘前大学 人文社会科学部 准教授 アラスデア バトラー

【通訳】 弘前大学 人文社会科学部 准教授 堀 智弘

11:10~12:00

講演2 歴史を動かした青森の馬

弘前大学 人文社会科学部 准教授 植月 学

13:00~13:50

講演3 古代ローマの怖い絵—初期キリスト教美術の残虐場面—

弘前大学 人文社会科学部 教授 宮坂 朋

14:00~15:00

招待講演

大名の読書と学問 —津軽信政の蔵書をめぐって—

慶應義塾大学 文学部 教授 小川 剛生 先生

15:10~16:20

特別講演 【使用言語 日本語】

朝鮮燕行使と通信使の世界

東国大学校 文科大学 史学科 教授 徐 仁範 先生

16:20~16:30

閉会の辞 弘前大学 人文社会科学部 副学部長 荷見 守義



2018.

11.3 土・祝  
10:00~16:30  
(開場9:30)

弘前大学人文社会科学部棟  
4階 多目的ホール (定員100名)

入場無料 申込不要 入退場自由

駐車場が狭いため、公共交通機関を利用してお越しください

主催

弘前大学人文社会科学部  
弘前大学人文社会科学部 地域未来創生センター

後援 弘前市 東奥日報社 陸奥新報社

問い合わせ先

弘前大学人文社会科学部 地域未来創生センター (古川・尾崎)  
住所:〒036-8560 弘前市文京町1番地  
電話:0172-39-3198(直) 平日10:15~17:00  
メール:irrc@hirosaki-u.ac.jp



特別講演 **朝鮮燕行使と通信使の世界**

ソ インボム  
**徐 仁範** 先生 東国大学校 文科大学 史学科 教授

韓国出身。現在、東国大学校文科大学史学科教授。文学博士(東北大学(日本))。専門は、東洋史。著書『燕行使の道を行く』(ハンギル社、ソウル、2014年)が韓国文化体育観光部優秀図書選定及び優秀編集図書賞を受賞、『明皇帝の后宫となった朝鮮処女の物語』(韓国研究財団、2016年)が著書支援事業に選定されるなど、著書はいずれも高い評価を受けている。また論文は、「朝鮮の宗系と倭事を曲筆した中国の文献一明・清時代に刊行された文献を中心に一」(『東国史学』54号、2017年)など韓国の学術誌に数多く発表する他、「朝鮮使節の海路朝貢路と海神信仰一『燕行録』の分析を通して一」(吉尾寛編『海域世界の環境と文化』東アジア海域叢書 4、汲古書院、2011年)など、日本語での論文も多数ある。



招待講演 **大名の読書と学問 一津軽信政の蔵書をめぐって一**

おがわ たけお  
**小川 剛生** 先生 慶應義塾大学 文学部 教授

1971年、東京都生まれ。博士(文学、慶應義塾大学)。専門は中世和歌。著書に『二条良基研究』(笠間書院、2005年)、『武士はなぜ歌を詠むか一鎌倉将軍から戦国大名まで一』(角川叢書、2008年)、『足利義満 公武に君臨した室町将軍』(中公新書、2012年)、『新版 徒然草 現代語訳付き』(角川ソフィア文庫、2015年)、『兼好法師 徒然草に記されなかった真実』(中公新書、2017年)など多数。1999年に第25回日本古典文学会賞を受賞、2006年に第28回角川源義賞を史上最年少で受賞。



講演1  
**英語文法を探求する**  
(Exploring English Grammar)

弘前大学 人文社会科学部 准教授

**アラスデア バトラー**  
BUTLER ALASTAIR JAMES

1975年、イギリス生まれ。Ph.D.(英・ヨーク大学)。専門は言語学。著書に、*The Syntax and Semantics of Split Constructions*, Palgrave Macmillan, London, 2004(エリック マチュールとの共著)、*The Semantics of Grammatical Dependencies*, Brill Academic Publishers, Leiden, 2010、*Linguistic Expressions and Semantics Processing: A Practical Approach*, Springer, Berlin, 2015がある。



講演1  
**通訳**

弘前大学 人文社会科学部 准教授

ほり ともひろ  
**堀 智弘**

1973年、千葉県生まれ。博士(文学)。専門はアメリカ文学。近年の業績に、「十九世紀中葉における「抵抗する奴隷」の表象一フレデリック・ダグラスとハリエット・ビーチャー・ストウの間テキストの対話一」(『アメリカン・ヴァイオレンス一見える暴力・見えない暴力一』彩流社、2013年)、「アメリカの奴隷の「栄えある復活」一回心物語の書き換えとしての『フレデリック・ダグラスの生涯の物語』一」(『黒人研究』86号、2017年)がある。



講演2  
**歴史を動かした青森の馬**

弘前大学 人文社会科学部 准教授

うえつき まなぶ  
**植月 学**

1971年、南アフリカ生まれ。文学修士(早稲田大学)。専門は動物考古学、博物館学。近年の業績に、「骨塚の形成から見た大型獣狩猟と縄文文化」(『季刊考古学』別冊21、雄山閣、2014年)、「子(ネズミ)」、「卯(ウサギ)」(『十二支になった動物たちの考古学』新泉社、2015年)、「余山貝塚の漁労活動一漁具生産と魚類資源をめぐる集団間関係一」『霞ヶ浦の貝塚と社会』雄山閣、2018年)、「東国における牛馬の利用」(『季刊考古学』144号、2018年)がある。



講演3  
**古代ローマの怖い絵**  
一初期キリスト教美術の残虐場面一

弘前大学 人文社会科学部 教授

みやさか とも  
**宮坂 朋**

1960年、埼玉県生まれ。文学修士。キリスト教考古学修士(licenza di archeologia cristiana)。専門は古代ローマの美術と考古学。代表的な業績に、『世界美術大全集7西欧初期中世の美術』(小学館、1997年)、「半開の扉一ヴィア・ラティーナ・カタコンベ墓室F壁画画像解釈一」(『美術史』166号、2009年)、「ティール周辺の地下墓の位置づけ」(『フェニキア・カルタゴから見た古代の地中海』六一書房、2013年)がある。